

令和5年度 国語科「言語文化」シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	園芸・自動車・情報処理科 1年 A・B・C組
教科書	高等学校標準言語文化（第一学習社）	副教材等	常用漢字オールクリア（尚文出版） 担当者による自作プリント

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	<ul style="list-style-type: none"> 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 	日本文学編 －近現代	小説を読む（一） 「とんかつ」三浦哲郎	謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。	文章の意味を的確に理解できたか、また、語句の意味を正確に把握できたか、ノートやプリント、感想文等を通して確認する。
5	<ul style="list-style-type: none"> 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通じて他社や社会に関わろうとしている。 	日本文学編 －古文	古文入門 古文の学習 「児のそら寝」宇治拾遺物語	わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。古典の文章になれるとともに、現代に通ずる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。	物語の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
		日本文学編 －古文	古文に親しむ 「なよ竹のかぐや姫」竹取物語	現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。	物語の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
		日本文学編 －近現代	中間考査 小説を読む（二） 「羅生門」芥川龍之介	下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	物語の内容・心情が理解できたか、また、語句の意味等の理解が出来たか、ノート・感想等を通して確認する。
6	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることを身に付けようとしている。 	漢文学編	漢文入門 漢文の学習 訓読に親しむ（一）～（三）	漢文を訓読するための基礎知識として、返り点や助字、再読文字の使い方を習得する。	漢文の構造、返り点の種類等を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
		漢文学編	故事成語 「五十歩百歩」孟子	わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。	書き下し文を作れるようになっているか、内容が理解できているか、ノート・プリント等を通して確認する。
7			期末考査		

9	<ul style="list-style-type: none"> 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 	日本文学編 —近現代	小説を読む (三) 「鏡」村上春樹	恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。	物語の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
10	<ul style="list-style-type: none"> 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 自分の体験や思いを効果的に伝えるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の工夫をしている。 	日本文学編 —古文	古文に親しむ 「絵師良秀」宇治拾遺物語	古文における人物造形のおもしろさを読み味わい、古文の世界への親しみを深める。	物語の内容・心情が理解できたか、また、語句の意味等の理解が出来たか、ノート・感想等を通して確認する。
11	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 	漢文学編	故事成語 「矛盾」韓非子	漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	書き下し文を作れるようになっているか、内容が理解できているか、ノート・プリント等を通して確認する。
12	<ul style="list-style-type: none"> 自由記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 	日本文学編 —近現代	小説を読む (一) 「よるこびの歌」宮下奈都	「私」と周囲との意識のずれが何から生じているのかを捉えながら、「私」の心情の動きを読み取る。	物語の内容・心情が理解できたか、また、語句の意味等の理解が出来たか、ノート・感想等を通して確認する。
12	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 	日本文学編 —古文	随筆を読む (一) 「枕草子」清少納言	自由記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。	物語の内容を理解できたか、また、基本的な文法事項を理解できたか、授業時の質問・ノート・プリント等を通して確認する。
12	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 	漢文学編	故事成語 「蛇足」戦国策	漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	書き下し文を作れるようになっているか、内容が理解できているか、ノート・プリント等を通して確認する。
1	<ul style="list-style-type: none"> 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で適切に使うことができる。 	日本文学編 —近現代	小説を読む (三) 「夢十夜」夏目漱石	「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。	物語の内容・心情が理解できたか、また、語句の意味等の理解が出来たか、ノート・感想等を通して確認する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で適切に使うことができる。 	漢文学編	故事成語 「鶏口牛後」十八史略	戦国時代を背景とした各国の状況を知るとともに、蘇秦の言葉が諸侯を動かした理由を理解する。	書き下し文を作れるようになっているか、内容が理解できているか、ノート・プリント等を通して確認する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で適切に使うことができる。 		学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができている。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から、評価規準に従い総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

毎時間の板書内容の書き取りを忘れない、怠らない。プリント提出及び点検があるので、それに備えておく。常用漢字テストではできるだけ得点を重ねられるよう、事前学習を確実にする。プリントや課題の提出をおろそかにしない。以上が十分にできれば、単位修得の可能性は高い。

